【下妻市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本市では、学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月）等を踏まえて、令和6年度の教育目標を「学びを人生や社会に生かそうとする人材の育成～指導から教育へ、指導から支援へ、指導から経営へ～」とする。教育目標の重点施策の一つとして、ICT活用の充実を掲げている。具体的には、1人1台端末・クラウドツールなどを活用し、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて、いつでもどこでも学ぶことができ、一人ひとりの能力を十分に発揮することができる、多様な学び且つ主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。

2. GIGA第1期の総括

本市では、令和元年度に370台、令和2年度に3,323台、合計3,693台の1人1台端末整備とともに、GIGAスクール構想の実現に向けた校内通信ネットワークの整備を進めた。さらに、一部の小中学校においては、ネットワークアセスメントを実施し、ネットワーク環境改善に向けた対応を行っている。

ICTを活用した授業は、徐々に増加しており、学習支援ソフトやデジタルドリルなどを活用し、児童生徒による発表や意見交換が行われており、課題解決に取り組んでいる。

また、教職員のICTスキル及び活用指導力の向上を目的とした研修を例年実施しており、1人1台端末を活用した授業や家庭学習は、日常的になりつつあるが、学校や教職員間でICT活用状況が異なるため、引き続き情報共有や研修等の機会を設けることによりICT活用の促進を図る。

3. 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的活用

授業や家庭学習、学校・家庭間の連絡等、様々な場面での1人1台端末の活用を推進する。また、教職員においては、ICT活用指導力の向上を目的とした研修を定期的を実施するとともに、活用事例等の情報共有ができる環境を提供する。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

学習支援ソフトやデジタルドリルの活用により、児童生徒の理解度や学習進度に合わせた個別最適な学びを進める。また、「調べる」「発表・表現する」「やりとりする」などの授業場面に応じた1人1台端末の活用を進め、協働的な学びの充実を図る。

(3) 学びの保障

特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施する。また、希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供する等、様々な困難を抱える児童生徒への支援策として、多様な場面で1人1台端末の活用を促進する。